

令和6（2024）年度

生涯学習・社会教育関係職員のための ICT活用セミナー 実施報告

実施日：令和6（2024）年4月24日（水）・5月15日（水）

実際にICT機器の操作をしたり、会場設営を体験したりしながら、オンライン講座の企画や運営に必要な知識と技能を身に付けることを目的として、第1回ではライブ配信型講座の会場設営、運営等のポイントを中心に、第2回ではeラーニング（オンデマンド・動画配信）講座で配信する動画の作成やアップロードの方法を中心に講座を実施しました。第2回の最後には、これらの学びを基に、社会教育に求められるものや社会教育が果たすべき役割を確認した上で、効果的なオンライン講座の企画を行いました。

○第1回〔4月24日（水）実施〕

*説明・実習「Zoomを活用したオンライン講座運営のポイント」

第1回は、よく使われるWeb会議ツールの1つである「Zoom」の操作方法について、ライブ配信型のオンライン講座を運営することを想定して講義を進めました。

最初に、基本操作の確認をした後、講座運営をする上でZoomを活用していく注意点について、運営の順序にしたがってそのポイントを押さえました。

受講者は、画面表示やカメラとマイクの切り替え、リアクションやチャット等の操作方法について確認しました。また、講座をより充実させる機能として、画面共有の様々な方法やブレイクアウトルーム機能の活用などを学びました。



次に、講座運営をするにあたり、配慮すべきポイントや一方通行になりがちなオンライン上での双方向のコミュニケーションの在り方について確認しました。

午後は、午前中に学んだ内容について演習し、実際の講座の運営を想定しながら、その操作方法を確認しました。各班にセンター職員が加わり、ミーティングルームのWeb上での詳細な設定を行ったり、「講師」「ホスト」「受講者」等の役割を交代で体験したりしながら、運営の実際について学びました。

受講者は、活用方法を考えながら一つ一つの操作習得に励んでいました。研修の終わりには、講座等でのオンライン活用についてグループで振り返りを行い、自身の業務遂行におけるICT活用上の課題を解決するヒントを得ることができたようです。



○第2回〔5月15日（水）実施〕

第2回は、Microsoft PowerPointを活用した手軽にできる動画の作成方法について講義を進めました。また、研修全体の総括として、社会教育の推進におけるICT活用について受講者の皆様に考えていただきました。

*説明・実習「オンデマンド配信動画の作成のポイント」

はじめに、社会教育を推進するために、ICTをツールとして活用する上でのポイントについて確認しました。

次に、PowerPointで動画を編集したり、既に作られているスライドに音声情報を付けて動画化したりする操作について学びました。これは、それほど操作が難しくなく、簡単に動画を作成・編集することができるので、公民館の講座等でも手軽に活用できるものと思います。

受講者は、その操作方法を実際に試しながら学習を進めました。自身の職務の中の様々な場面での活用を想起しながら、演習に取り組んでいるようでした。



また、午後の演習に向けて、これまで学習したスキルを実際の業務に活用していくにあたり、どのような点に配慮すべきか確認しました。

*演習「効果的なオンライン講座の企画」

午後は、オンライン講座の特徴（メリット・デメリット等）を考慮しながら、企画にどのように反映できるかを考えました。特に、社会教育を推進していく上で忘れてはならないことを押さえ、オンラインと対面との比較を通して、「多様な交流や人と人とのつながりづくり」の在り方について確認しました。それらを踏まえて、インターネットを活用した講座のプログラムや運営計画を作成し、グループや全体で紹介し合いました。

受講者は、自らの業務の中で、どのように工夫しながら生かしていくかを考え、熱心にメモをとりながら受講し、ICT活用に取り組む意義を確認していました。



【受講者の感想から】

第1回

- ホストとして「設定すべきこと」、「講座の途中の操作方法」、運営計画の立案のポイントを知ることができた。
- 職場内でまずは復命研修を行い、オンライン講座の開催が可能なプログラムを検討してみたい。
- 実際に触れることで、理解が深まった。公民館でも、今後はオンラインを活用した講座の実施が必要になるため、今回のように実際に触れる研修を行っていききたい。
- 地域と学校がつながるときに、Zoomが有効な場面もあると思った。対面で行うことと使い分けで活用したい。

第2回

- 他の方が考えた講座企画はとても現実的でやってみたいと思った。
- PowerPointで動画を作成したり、スライドに音声を入れたいことができることを知らなかったのが、新しい学びになった。
- 所属が主催している講座にオンライン開催も組み込んでいきたい。オンラインで行う際も、対面での企画のポイントを意識することを忘れないようにする。
- 講座等で活用できると感じた。様々な役職の方と課題に取り組むことで、いろいろな考え方や思いに触れることができた。多くの方を巻き込む事業を行うときは、視野を広げて運営することが大切だと思った。